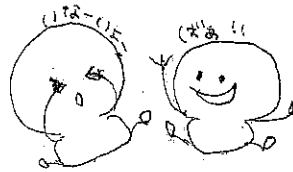


# \* しいの実ぐみ \*

入園から2ヶ月が経ち、(保育園の生活にも慣れてきて泣き声もどんと減り笑顔いっぱいであそぶようになってきました。お散歩入行くのも自分でお部屋の入り口までいはいして行くようになってきました。といても、しいの実ぐみの入り口からみずぐみの前に行くまでには、机やイス、ジャンパーかけなど鬼おかしなモノが(いっぱい)なかなかに目撃出来はかかるのですが... (笑)。階段を降り、玄関に行くまでまた、エレベーターのボタンやAEDのしまつてある扉、下駄箱とこれまた楽しいモノにあふれています。ハイハイをしている子どもたちの視線には大人が気付かないように、大人にと、ては、どう、てこのたよいやうなものが沢山あて...。子どもたちにと、ては、どれも「おもしろい!」「なんだ?」「?」とキラキラして見えるんだしうね。その子どもたちのワクワクする気持ちに寄り添いながら、ゆったりと生活を楽しむことを心がけています。子どもたちにと、て、保育園が安心できる場所になつていくよう、毎日の生活のくり返しを大切にすることで、目を合わせて声をかけ、ひとつひとつの生活を丁寧にすること。たとえば、おむつ替えの時には「次は何をするのか」「ズボンめくよー」「パンツめくよー」など、目撃出来はかかるけど「おむつ」のスイッチが「とれる貴重な時間だ」と思つて、楽しみながら行っています。おむつ替えだけではありませんか? そうい、たこと、ひとつひとつが子どもたちにと、て、保育者を信頼して「安心できる人がいる」保育園が安全で安心できる場所になつていく大切な時間と想っています。



少しづつ、保育者が名前を呼び、「おいで」と手をあげると笑顔で来てくれるようになってきました。

手あそびやリズムも保育者のマネ、こして上手に体を動かすようになってきました。だんだんと子どもたちとの距離が近くなつてい、てるとな一ひと女喜しく思っています。

梅雨に入り、なかなかなお散歩に行けない日も続きますが、お部屋でのあそび(リズムや布を使つたり、体を動かしたり)ゆったりと保育者とふれ合いあそびを楽しんだりしたいと思います。

\* 体調調整や様々嫌が(いつもと違つたり、生活リズムが)おかしなつてしまつたり...といつとも違つことがあつた、登園時担任に声をかけて下さい \*



# しいの実ぐみ

# たんぽぽぐみ

# みずぐみ

## クラスだより 2021. 5. 31

少し早い梅雨のような天気もありますが、変わらず元気に遊ぶ子どもたちです。新年度が始まり、早2ヶ月。最初は新しいクラスに慣れない子どもたちもいましたが、今では元気に「おはよう」と登園しています。

コロナウイルスに加え、様々な感染症に気を付けて、予防対策をしっかりしつつ、子どもたちと安心して楽しく過ごしていきたいです。



### みずぐみ

毎日朝の挨拶の時に「今日は何をするの?」「どこいくの?」と興味津々の子どもたち。天気の良い日は「今日は散歩に行くよ。」と言うと、「やったあ」と言う子どもや早くも帽子をかぶろうとしている子どもなど、様々な姿が見られます。4月に比べ、少し遠くまで歩いていけるようになった子どもたち。道を歩いていると、一人ひとりが小さな発見を楽しみ、伝えようとしてくれます。5月後半は雨の日も多く、室内で過ごすことも多かったですが、室内でも出来る限り、身体を動かすことを大切にしました。リズムをした時には、子どもたちに半分に分かれてもらい、片方のチームがしている間は見て待っていますが、「早くやりたい」という子どもはどちらのチームでも出てきて、汗だくになってやっている姿も見られました。

保育室には色々なおもちゃもあり、子どもたちはいつもその中から自分が遊びたいと思うものを出して遊んでいます。一つのおもちゃにもその子一人ひとりの遊び方があり、最初は一人で遊んでいることが多かったですが、周りの友だちの遊び方を見て真似して遊ぶことも増えてきました。一人ひとりが好きな遊びを見つけ、遊びが発展していったらいいなと思います。

### ～トイレトレーニング～

生活の中で自分から「おしっこ」と言つて、トイレに行こうとする姿や自分でズボンを脱ごうとする姿も見られます。園では全員がトイレに行き、出るか出ないかに関わらず、座ってもらう様子を見えています。トイレトレーニングを始める目安は個人差もありますが、自分でしっかり便座やおまるに座ることが出来たり、自分の気持ちを伝えられるようになると、段々スムーズに進むようになるかと思われます。また、おうちの方にも気持ちの余裕があることが大切です。2歳のイヤイヤ期の中でどれだけ本人のやる気を引き出せるかも重要になってくると思います。「自分で決めたい」という気持ちがあるので、「今日はこうする?ああする?」と選択肢を与えてみると自分で決めたことはしっかりとやりとげられるかもしれません。一人ひとり個人差があるので周りと比較せず、その子のペースを優先して見守っていきまいたいと思つてますね。

# たんぽぽぐみ

早いもので、今年度が始まって2ヶ月が経とうとしています。新入園児も在園児も、新しい生活に慣れて、涙している姿よりも笑顔の姿のほうが多くなりました。

5月も、戸外の空気やにおい、雲間気、陽身れを感じ、虫や植物に触れてほしい思いで、できる限り散歩に出かけました。

散歩は子どもたちの大好きな活動のひとつで、散歩に行くことがわかると、帽子を取りに行つて、かぶせてもらおうと、保育者のもとまで持ってくる程でか... もうひとつ好きな活動(時間)があります。

それは午睡前の絵本の時間です。絵本に対して、親しみを持ってもらうこと、絵本の世界を楽しむことで、日課になっています。

給食も食つて、午睡の準備をして、布団を敷いたり、保育者が絵本が入っている棚もゴソゴソしはじめると、絵本が始まることも察して、あそぶのをやめて集まってくる子どもたちです。その時の子どもたちの目は、キラキラ光輝き、期待に満ちた目をしてしています。

まだまだ、絵本の内容を理解することは難しいですが、絵を見たり、言葉の言いまわしであたり、簡単な言葉をくり返し楽しむでいます。

午睡前のほこりとしたいい時間になっています。また、子どもたちが自由に見られる絵本を用意しておくこと、何冊もの絵本を手元において、1ページ1ページをめくつて見えています。

毎日の生活に追われて難しいこともあるかと思いますが、ご家庭でも、子どもと一緒に絵本を見て、子どもとの時間を楽しみ、共にほこりと気持ちも落ちつける時をもつてもらえたらいいなと思います。

よくみている絵本

